

先人が育んだ山林、
次の世代に伝えていく

みずの ひろと 水野 廣人

水野林業

昭和 61 年（1986）、古殿町生まれ。

大学卒業後、東京で株式会社ユニクロに入社。

2013 年、家業である水野林業を継ぐために古殿町へ U ターン。

林業のイメージアップのためにさまざまな企画に取り組む。

東日本大震災を機に、被災地である福島で

何かできることはないかと思い、私はふるさとに戻ることを決めました。

身の振り方を模索するうちに林業の担い手不足の問題が地元にも

陰を落としていることを知り、これは自分にしかできないことと思いました。

「古殿に戻って林業を継ぐ」と言ったとき、震災と原発事故で

林業の未来は厳しいと父にも親戚にも反対されました。

でも、山が荒れると災害につながります。育った木をみんなで使い、

新たに木を植えて山を再生していくことが大事だと考えたのです。

まずは木に触れて質感や素材の良さを再認識してもらおうと、

木工職人に頼んでプレートなどの製品作りや、山林への関心を高めようと、

伐採した丸太を馬で搬出する昔の技術にもチャレンジしました。

100 年前には馬搬が行われており、流鏑馬^{やぶさめ}で知られる古殿町でもあるので、
馬と木に関連づけられないかと考えたのです。

搬出した丸太は製品に加工し、馬のロゴマークを入れたいと考えています。

手入れした山を活用したアウトドアの過ごし方も企画しているところです。

先人が育んだ山林を次の世代に伝えていくのが林業の仕事。

その誇りと魅力を共有できる仲間をふやしていきたいです。



山で作ったカッティングボード（上）と BBQ ボード（下）